

☆ 視点を変えれば、世の中は変わる。

☆ Rethink=視点を変えて考える

ちょっとした問題や課題に出会ったとき、視点を変えて本質に気づくことで、前向きな行動につながります。

Rethink PROJECTは、JTがパートナーの皆さまとともに行う地域社会への貢献活動の総称です。

私たちは、心みたされるよりよい明日の実現に向けて、Rethinkをキーワードにこれまでにない視点や考え方を活かしながら、地域社会の様々な課題に向き合っていきます。

★ そしてRethinkフォーラムは、地域住民、地域企業、自治体の方々とともに地域社会の課題解決に向けてディスカッションをする場です。
みんなで地域の未来についてRethinkしてみませんか？



「Rethinkフォーラム～視点を変えれば、世の中は変わる。」(宮崎日日新聞社主催、宮崎県など後援、Rethink PROJECT協賛)は10月12日、宮崎市のシーガイアコンベンションセンターで開催されました。女優・モデルの高橋愛さんのトークショーと「Rethink宮崎～宮崎市制100周年とこれからの宮崎市の未来～」をテーマにしたパネルディスカッションを開催。清山知憲市長と宮崎青年会議所理事長の河野幸治さん、進行役のフリーディレクターMr.バニーさんも一緒に、さまざまな視点から県都の魅力を発見しました。



たかはし あい
高橋 愛氏
(女優・モデル)

演題: 私らしく輝く視点

1986年生まれ、福井県出身。モーニング娘。5期メンバーとして10年間在籍し、6代目リーダーおよびハロー!プロジェクトのリーダーとして活動。2011年から「ふくいブランド大使」に就任。グループ卒業後は女優としてミュージカルや舞台、ドラマで活躍し、現在はモデルをはじめ、プロデュースブランドを立ち上げるなど、活動の幅を広げている。



☆ **面白いがそうじゃないが常にチャレンジ** ☆

★ やってみなきゃ分からない

一福井県坂井市出身。どんな幼少時代を過ごしましたか。

とにかくやんちゃで男勝りでした。「やってみなきゃ分からない」と自分の背より深い溝に入って、助けを呼んだり、鉄棒から落ちて大けがをしたり。母から指図されるのが嫌で「私は私」と生きてきました。母は「人と同じじゃなくてもいいじゃない」とリュックや自転車などみんなとは違うものを購入するような人。私の真似をしてくれる子もいてうれしかったですね。母が角度を変えてくれました。

一芸能界入りのきっかけは？

☆ タカラジェンヌに憧れ、クラシックバレエや声楽を習っていた。

ました。年の変わらない後藤真希さんがモーニング娘。に加入したことを知り、チャレンジ精神旺盛なので、オーディションを受けたいという気持ちが止まられませんでした。もう24年前、懐かしいですね。

★ 道を開いた一言 角度を変えて前向きに

一人気絶頂のグループに加入。リーダーとしてプラチナ期を率いることができた秘訣は。

看板が大きすぎて足を引っ張らないよう責任感とプレッシャーがありませんでした。リーダーになったときは、ももクロ、AKB48などが出てきたアイドル戦国時代で、私たちが終わらせてはいけないという気持ちが大きかったです。

「今この時代だからこそレベルを上げなさい」というつくみさんの一言で角度が変わり、道が開けました。Rethinkなことは日常のすぐ近く、いろんなところに転がっているのだと思います。中澤裕子さんには「愛ちゃんらしくていいよ」と言われ、

私らしく肩組んで一列になっていくリーダー像が浮かび、涙が出ました。

一演技など活動の幅を広げています。今後やりたいことは？

人生は「人生ゲーム」と思っていて駒を動かしています。人生が面白くなる選択肢があったらどっちにする？と客観視している感じです。そこに思考はなく、あべこうじさん(芸人)と結婚を決めたのも「家族に向いている」と占い師3人に言われたときに、目の前を、おじいちゃんおばあちゃんが手をつないで歩いていて、こうなりたいと思ったから。けがをしなくて分からなかった小さいころと変わっていない。面白いが、そうじゃないか生きる角度を見せてくれたのはあべさん。より自分が強固になれる最高のパートナーです。

やりたいなと思ったときは、もう踏み入れていて、あとはどうやっていくかのプロセスを楽しんでいます。これからも、これいいかもと思うことを客観視してストップをかけないでチャレンジしていきますよ！

テーマ「Rethink宮崎 ～宮崎市制100周年とこれからの宮崎市の未来～」

パネルディスカッション出演者 高橋 愛氏 (女優・モデル)、清山 知憲氏 (宮崎市長)、河野 幸治氏 (宮崎青年会議所理事長)、Mr.バニー (フリーディレクター、タレント)

食、スポーツ、自然環境を生かし誘客

バニー 市制100周年を迎えた宮崎市の取り組みについて、市長に伺います。

清山 宮崎市出身の漫画家の東村アキコさんに、笑顔の猫をイメージした記念ロゴをつくっていただきました。「これからも宮崎らしく笑顔あふれる街であってほしい」という願いが込められているそうです。100周年のイベントとしては、10月に記念式典・祝賀会を開催しました。11月24日には東京ディズニーリゾートの協力を得て市民パレードを予定しており、多くの皆さんと一緒に過ごしたいです。

バニー 宮崎市はこれからも観光に力を入れていく必要があると思います。誘客の取り組みは？

清山 食、スポーツ、自然環境といった資源を生かした取り組みを行っています。温暖な気候を生かしたサーフィンやゴルフに加え、加江田渓谷の沢登り、双石山登山など体験型のアクティビティを盛り上げて、宮崎ファンを増やしていきたいですね。一方、訪日外国人数はまだコロナ前には戻っていません。今後、台湾便が週1日運航で復活し、韓国便は増便して毎日運航となります。この波を生かして、多くの観光客呼び込みます。

バニー 高橋さんは宮崎市内の観光地を巡られたそうですね。

高橋 江田神社に参拝させていただきました。境内に入ると、ご神木から感じるエネルギーがすごくて、引き寄せられるような感覚に鳥肌が立ちました。「ずっとここにいたい」と思わせるパワースポットでした。

バニー 宮崎青年会議所は学生と一緒に、宮崎を盛り上げる取り組みを実施しています。

河野 若いデジタル人材を育成するワークショップを今年3月に開催しました。若者に「自分たちも社会を変えられる」ということ

を体験してもらおうのが目的です。商店街活性化などの課題について学生が現地調査し、解決のためのアプリを制作して発表するカリキュラムを3日間で行いました。さらに9月からは産学官で連携し、開発したアプリを実際に試す社会実験に取り組んでいます。アプリはチキン南蛮に特化し、学生が集めたニッチな情報を提供するものが特徴です。

在留外国人も住みやすい環境づくりへ

バニー 宮崎市の第2期地方創生総合戦略で掲げている、関係人口の創出について教えてください。

清山 9月にアイドルグループの日向坂46が宮崎市で開催したフェスの来場者約5万人のうち、約4万人が県外からでした。ファンの方々は宮崎を気に入ってくださっていて、一気に関係人口が増えました。ふるさと納税の寄付者も関係人口と捉えていて、100周年の今年は寄付額100億円を達成するために頑張っています。今月7日には100周年に合わせ、首都圏を中心とする宮崎ゆかりの方々を招いた大規模な交流会を都内で開催しました。宮崎赴任を経て首都圏に戻られる方々は宮崎のファンになり、いろいろな形で応援してくださいって本当にありがたいですね。

バニー 宮崎青年会議所の取り組みは？

河野 県内の在留外国人と、県民や市民がどう相互理解を深められるかを考えています。外国人のアンケートでは、災害時の情報不足、日本語能力、病院受診などで困っているという結果が出ました。そこで、企業や病院の入り口に対応可能な言語を表示する「ウエルカム宣言」という取り組みを本年度始めました。ステッカーの2次元コードを読み込むと、参加した事業所の場所が地図アプリで確認できるようになっています。ポティランゲージでも構いませんので、外国人が住みやすい環境をつくるため、ぜひ参加して

りたいです。

高橋 相互理解を深めるためには、宮崎の方が外国人に文化を学ぶのも、逆にいいかなって思います。例えば、ゴルフ場での日本人と韓国人のマナーの違いを紹介すれば、文化交流になるのではないのでしょうか。「日本はこうだから合わせて」というのも大事だけど、歩み寄っていくのも素敵ですね。

好きで来てくれる人巻き込み魅力発信を

バニー 宮崎市がこれからも発展し、宮崎市民や宮崎市を訪れる人が心豊かで自分らしくいられる場所になるためにはどうしたらいいか、Rethinkの視点でお聞かせください。

清山 この先、少子高齢化と人口減少は避けられず、市役所の運営も厳しい現実と直面しています。これからはRethinkして、過去に享受してきた豊かさから少し発想を変えた豊かさを求めていかなければいけない。100年後も変わらない宮崎の価値や魅力を大事にしながら、豊かな社会を迎えたいと思っています。

河野 次の100年を考え、行政や政治家に任せきりにせず、民間が当事者意識を持って一緒に物事をつくるという気持ちを持ちたいです。市長もその考えをお持ちなので、民間からどんどん意見を出し、次の未来をともにつくっていければと思います。

高橋 宮崎は幸福度ランキングが毎回上位だそうです。福井県もランキング1位になったことがあり、幸福度の高さが共通しているうれしかったです。地元の方は当たり前すぎて気が付かないけれど、外から見たら「すごい」と感じる魅力がきっとあります。宮崎が好きで来てくれる人を巻き込んで、魅力を発信していくのもいいかも。これからも100年先の宮崎を楽しみにしています。これを機会に、宮崎市の応援団になります。

